

別協推委第8号  
令和元年10月21日

別府市長 長野 恭紘 様

別府市協働のまちづくり  
委員長 福谷 正信



平成30年度協働のまちづくりの推進に関する  
施策の実施状況評価結果について

別府市協働のまちづくり推進条例第10条第1項の規定に基づく施策の実施状況について、同条第2項の規定により、当委員会の評価をまとめましたので、下記のとおり報告します。

なお、今後の協働のまちづくりの推進に関する施策の執行にあたっては、下記の評価結果に配慮され、引き続き目的の実現に向け取り組まれるよう要望します。

記

1 啓発活動及び人材育成の推進について

協働推進員を通じて、全職員に協働の意識を浸透させるため、各課における協働推進員について実効性のある配置をしていただきたい。また、研修を重ねることにより、知識やノウハウを発揮できる協働推進員を育成していただきたい。

2 市民と市の相互理解の推進について

市のホームページをはじめ多様な方法・手段を活用して、市と市民の協働に対する理解度の差を縮めるよう努めていただきたい。平成30年度は健康寿命の延伸をテーマにした「ひとまもり・まちまもり懇談会」が開催され、高齢者との意見交換により相互理解が推進された。今後は多様な世代が参画できるテーマも検討するなど、この懇談会を機に、住民の意識が、地域の課

題は地域で解決していくという理念に繋がることを期待したい。

### 3 体制づくりと支援策の推進について

「ひとまもり・まちまもり自治区形成事業」により多様な団体等で組織する「ひとまもり・まちまもり協議会」の設立を引き続き推進するとともに、自治機能を強化するため、若い世代の参画を促していただきたい。また地域応援隊は、職員が地域の一員という意識のもと、地域への支援として有効な活動になるよう積極的に取り組んでいただきたい。

### 4 環境整備の推進について

住民が地域課題を解決していくために、専門的な立場から協力・支援する団体などの中間支援組織の強化や中間支援人材の育成を図り、協働のまちづくりを推進する体制を構築していただきたい。

### 5 取組みの評価や見直しの推進について

平成30年度は2つのひとまもり・まちまもり協議会が設立され、その積極的な活動が報道され、地域住民の協働への関心が高まってきている。その地域の活力を自治機能強化の原動力として、市と市民がこれまで以上に連携し、協働のまちづくりを推進していくことを要望する。